

桑名地域小児在宅医療検討委員会 開催状況

○事業の概要

三重県が国庫補助事業である小児等在宅医療連携拠点事業を申請し、採択された。三重県から三重大学医学部附属病院に再委託し、同事業のモデル地区として、桑名市と鈴鹿市が選ばれた。

選定理由は、桑名市と鈴鹿市には NICU のある病院がなく、NICU で長期療養した小児などが地域に帰り、生活するに当たり、NICU がない地域でどのように在宅医療を行っていくかを検討、研究していくため。

○第 1 回

日時：平成 25 年 10 月 15 日（火）19:30～21:00

場所：くわなメディアライヴ

内容：（1）小児等在宅医療連携拠点事業について

（2）桑名地域における事業計画について

- ・桑名医師会といなべ医師会が中心となって平成 10 年に作成した「桑名地区（桑名市・桑名郡・員弁郡）障害児（者）支援マップ」をリニューアルする。
- ・この事業を契機に明らかとなった、桑名地域における小児在宅医療に係る課題とその対応などについて、報告書としてまとめる。

（3）桑名地域小児在宅医療検討委員会について

- ・委員名簿は次頁のとおり

（4）現状及び課題抽出に向けた意見交換

○第 2 回

日時：平成 25 年 12 月 24 日（火）19:30～21:00

場所：くわなメディアライヴ

内容：（1）医療的ケアが必要な在宅ケア児の実態把握について

（2）具体的事例について

- ・海南病院から在宅ケアに移行した事例（いなべ医師会桑原医師）
- ・保健師が訪問した事例（東員町・桑名保健所）

（3）小児在宅医療の課題について

（4）その他

- ・県の小児等在宅医療連携拠点事業キックオフミーティングについて

○第3回

日時：平成26年2月18日（火）19:30～21:00

場所：くわなメディアライヴ

内容：（1）医療的ケアが必要な在宅ケア児の実態把握について

（2）今までの検討結果について

- ・ 検討委員会以外の情報収集について
- ・ 桑名地域における小児在宅医療の特徴と課題について
- ・ 桑名地域がめざすイメージについて

（3）事業の進捗状況と検討委員会の今後について

【桑名市小児医療検討委員会名簿】

	所属	役職	氏名
1	三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター	小児トータルケアセンター長	いわもと しょうたろう 岩本 彰太郎
2	愛知厚生連 海南病院(NICU病院)	小児科部長	いちき たかし 一木 貴
3	市立四日市病院(NICU病院)	小児科部長	ばん きょうこ 坂 京子
4	桑名医師会	理事(近藤小児科医院)	こんどう ひさし 近藤 久
5	桑名医師会	理事(まつだ小児科クリニック)	まつだ ただし 松田 正
6	桑名市総合医療センター(東医療センター)	小児科部長	もりたに ともこ 森谷 朋子
7	三重県訪問看護ステーション連絡協議会(桑名ブロック)	ナーシングホームもも代表	ふくもと みつこ 福本 美津子
8	MCサポートセンター みつくみえ	代表	まつおか のりこ 松岡 典子
9	桑名市主任児童委員部会	部会長	わたなべ みきこ 渡部 美紀子
10	桑名市地域医療対策課	課長	くろだ まさる 黒田 勝
11	三重県桑名保健所	所長	ながさか ゆうじ 長坂 裕二

(桑名地域事務局)

	桑名市保健福祉部	理事	かとう ひろし 加藤 洋士
	桑名市地域医療対策課	課長	くろだ まさる 黒田 勝
	桑名市地域医療対策課	係長	うめやま やすひろ 梅山 靖洋
	三重県桑名保健所	所長	ながさか ゆうじ 長坂 裕二